

宇都宮市立豊郷中学校 第2学年 生徒質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」という質問項目についての肯定割合は85.6%で、県の平均を11.0ポイント上回った。また、「学習して身に付けたことは、将来の仕事や生活の中で役に立つと思う」という質問項目についての肯定割合は93.9%で、県の平均を6.4ポイント上回った。学習に対して興味・関心を持ち、有用性を感じて取り組んでいる様子が伺える。

○「家の人と将来のことについて話すことがある」という質問項目についての肯定割合は75.4%で、県の平均を8.6ポイント上回った。また、「家の人と学習について話をしている」という質問項目についての肯定割合は86.7%で、県の平均を9.1ポイント上回った。家庭での学習や将来のついて、コミュニケーションがよくとれている様子が伺える。

●「授業でわからないことがあると、先生に聞くことができる」という質問項目についての肯定割合は66.2%で、県の平均を3.2ポイント下回った。また、「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している」という質問項目についての肯定割合は55.4%で、県の平均を7.4ポイント下回った。恥ずかしがらず、失敗を恐れずにチャレンジしていく姿勢を身につけさせたい。

●「数学の授業で学習したことをふだんの生活でも中で活用できないか考えている」という質問項目についての肯定割合は41.0%で、県の平均を6.5ポイント下回った。同様に「理科の授業で学習したことをふだんの生活でも中で活用できないか考えている」という質問項目についての肯定割合は43.1%で、県の平均を6.4ポイント下回った。学習には意欲的に取り組んでいるので、学習内容を生活に活用していこうとする意欲がもてるよう授業等で工夫していきたい。

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて次の目標達成を目指す。 ①言語活動を通し、問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の育成を図る。 ②学力向上を目指し家庭及び地域学校園と連携した「豊郷の豊かな学び」の実現を目指す。	・指導目標を明確にし、指導内容の充実に努める。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。 ・望ましい学習態度の育成に努める。 ・「グローバル社会」に対応する教育の推進に努める。 ・各教科・領域、家庭・地域との連携に努める。	「授業の中で、目標が示されている」という質問項目について、肯定割合が97.5%で、県の平均を2.9ポイント上回った。 「授業の最後に、学習したことを振り返る活動をよく行っている」という質問に対して、肯定割合が80.5%で、県の平均を6.2ポイント上回った。 「授業では、クラスの友達との間で話し合う活動をよく行っている」という質問について肯定割合が98.5%で県の平均を6.3ポイント上回った。 「本やインターネットなどを利用して、勉強に関する情報を得ている」という質問項目についての肯定割合が72.3%で、県の平均を3.6ポイント上回った。 「家の人と学習について話をしている」という質問項目についての肯定割合が86.7%で県の平均を9.1ポイント上回った。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
「授業で自分の考えを文章にまとめて書くことは難しい」という質問項目についての肯定割合は73.3%で、県の平均を9.2ポイント上回った。 「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している」という質問項目についての肯定割合は55.4%で、県の平均を7.4ポイント下回った。	・言語活動の充実から学力を向上させるための授業の工夫。 ・自己肯定感を高め、課題に挑戦しようとする姿勢の育成	授業で行う言語活動において、自分の考えを話し合うだけでなく、文章で書くという表現活動も多く取り入れていく必要がある。 クラスは発言しやすい傾向があるので、失敗を恐れずに、課題に挑戦していける雰囲気をつくってきたい。